



平成27年2月12日

各位

株式会社T&Dホールディングス
(コード番号 8795 東証第一部)
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社

平成27年3月期第3四半期決算のお知らせ

T&D保険グループ（T&Dホールディングス、太陽生命、大同生命、T&Dフィナンシャル生命）の平成27年3月期第3四半期（平成26年4月1日～平成26年12月31日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社3社合算：個人保険・個人年金保険）

- 新契約高は、5兆3,487億円、前年同期から6.4%の増加。
- 保有契約高は、60兆4,483億円、前年度末から1.6%の増加。
- 解約失効高は、2兆8,144億円、前年同期から6.7%の減少。

損益関係（T&Dホールディングス連結）

- 経常収益は、1兆8,356億円、前年同期から15.3%の増加。
うち保険料等収入は、1兆4,909億円、前年同期から23.3%の増加。
- 経常利益は、1,359億円、前年同期から3.7%の減少。
- 四半期純利益は、756億円、前年同期から23.8%の増加。

通期業績予想

- 通期業績予想の修正はありません。

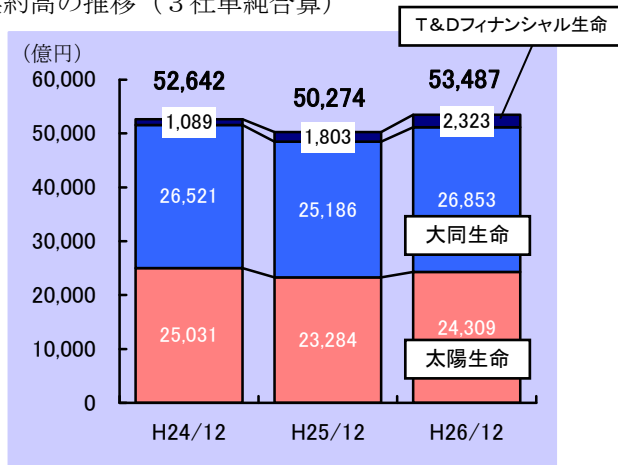
以上

【お問合せ先】

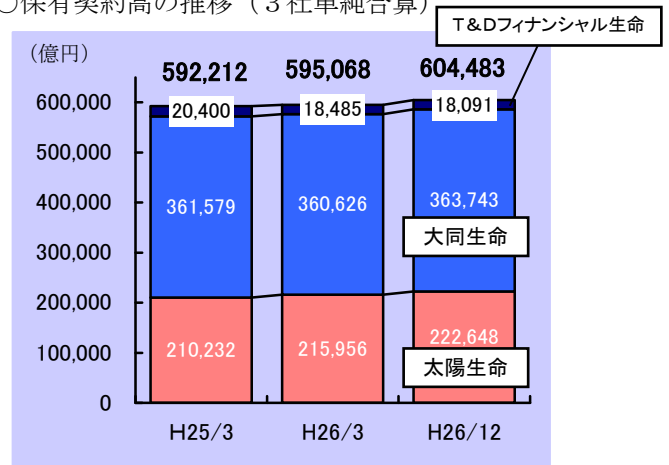
株式会社T&Dホールディングス	広報部	佐藤・今井	TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社	広報課	松島	TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社	広報課	西岡	TEL 03-3434-9190
T&Dフィナンシャル生命保険株式会社	広報課	進藤	TEL 03-3434-8840

[契約業績（個人保険・個人年金保険）]

○新契約高の推移（3社単純合算）



○保有契約高の推移（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
新契約高	53,487	3,213 増 (6.4%増)	24,309	1,025 増 (4.4%増)	26,853	1,667 増 (6.6%増)	2,323	520 増 (28.9%増)
新契約年換算保険料	1,255	270 増 (27.5%増)	444	117 増 (35.7%増)	616	105 増 (20.6%増)	193	48 増 (33.0%増)
うち医療保障・ 生前給付保障等	160	29 増 (22.4%増)	73	19 増 (37.4%増)	87	9 増 (12.0%増)	0	0 増 (160.2%増)

(注) 新契約高には転換による純増加分を含んでおります。

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
保有契約高	604,483	9,414 増 (1.6%増)	222,648	6,691 増 (3.1%増)	363,743	3,117 増 (0.9%増)	18,091	393 減 (2.1%減)
保有契約年換算保険料	14,437	231 増 (1.6%増)	6,492	137 増 (2.2%増)	6,737	248 増 (3.8%増)	1,207	154 減 (11.3%減)
うち医療保障・ 生前給付保障等	1,687	53 増 (3.3%増)	985	4 増 (0.5%増)	670	51 増 (8.2%増)	31	2 減 (7.1%減)

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
解約失効率			4.47%	0.01ポイント上昇	4.91%	0.45ポイント低下	4.34%	2.65ポイント低下
解約失効高	28,144	2,030 減 (6.7%減)	9,645	270 増 (2.9%増)	17,695	1,677 減 (8.7%減)	802	622 減 (43.7%減)

(注) 解約失効率は、年換算しておりません。

■ 3社単純合算

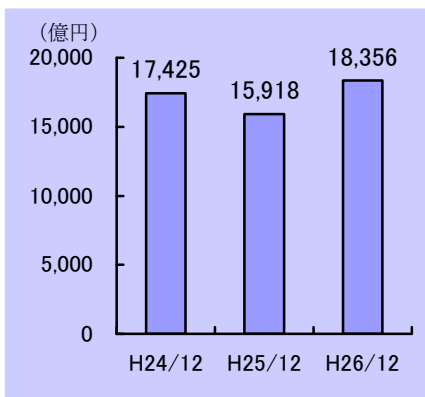
- ・新契約高は、5兆3,487億円、前年同期から6.4%の増加。
- ・保有契約高は、60兆4,483億円、前年度末から1.6%の増加。
 なお、大同生命の「Jタイプ※」および「Tタイプ※」を加算した新契約高は5兆8,462億円、前年同期から8.2%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、62兆761億円、前年度末から2.3%の増加。
 ※定期保険と並んで主力商品である「Jタイプ（無配当重大疾病保障保険）」および「Tタイプ（無配当就業障がい保障保険）」（昨年9月発売）は、普通死亡の保障がないため、重大疾病保険金額および就業障がい保険金額は上表の新契約高・保有契約高・解約失効高には計上していません。

■ 各社の状況

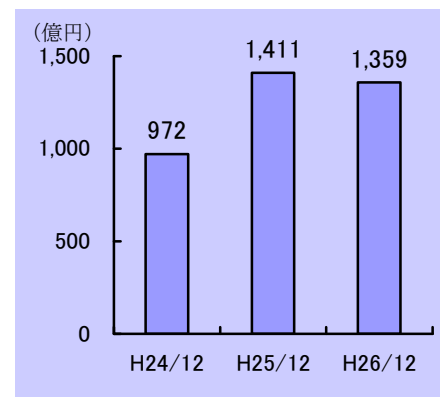
- ・太陽生命の新契約高は、2兆4,309億円、前年同期から4.4%の増加。
 これは主に、主力商品の「保険組曲Best」の販売増加による。
 また、保有契約高は、22兆2,648億円、前年度末から3.1%の増加。
- ・大同生命の新契約高は、2兆6,853億円、前年同期から6.6%の増加。
 これは主に、主力商品の個人定期保険の販売増加による。
 また、保有契約高は、36兆3,743億円、前年度末から0.9%の増加。
 なお、「Jタイプ」および「Tタイプ」を加算した新契約高は、3兆1,828億円となり、前年同期から10.0%の増加。また、同じ基準でみた保有契約高は、38兆22億円となり、前年度末から2.0%の増加。
- ・T&Dフィナンシャル生命の新契約高は、2,323億円、前年同期から28.9%の増加。これは主に、一時払終身保険の販売増加による。

[損益関係]

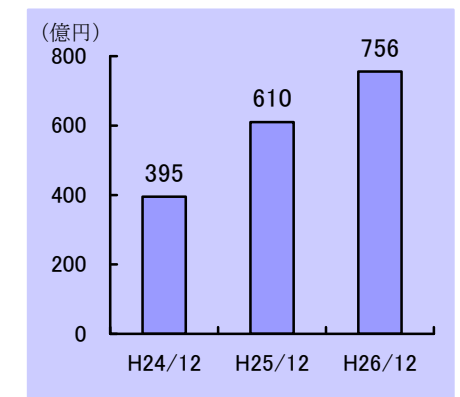
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



(単位：億円)

	T & Dホールディングス連結		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第3 四半期累計	前年同期比	当第3 四半期累計	前年同期比	当第3 四半期累計	前年同期比	当第3 四半期累計	前年同期比
経常収益	18,356	2,437 増 (15.3%増)	7,965	1,463 増 (22.5%増)	7,592	894 増 (13.4%増)	2,860	623 減 (17.9%減)
うち保険料等収入	14,909	2,815 増 (23.3%増)	6,606	1,588 増 (31.6%増)	6,081	785 増 (14.8%増)	2,204	438 増 (24.8%増)
うち資産運用収益	2,893	388 減 (11.8%減)	1,264	74 減 (5.6%減)	1,320	84 増 (6.8%増)	368	359 減 (49.4%減)
うち利息及び配当金等収入	2,163	23 増 (1.1%増)	1,136	22 減 (2.0%減)	983	44 増 (4.8%増)	54	1 増 (2.9%増)
うちその他経常収益	552	9 増 (1.7%増)	95	49 減 (34.4%減)	190	25 増 (15.2%増)	287	702 減 (71.0%減)
経常費用	16,996	2,489 増 (17.2%増)	7,512	1,549 増 (26.0%増)	6,847	848 増 (14.1%増)	2,710	612 減 (18.4%減)
うち保険金等支払金	10,675	783 減 (6.8%減)	4,370	101 減 (2.3%減)	3,726	231 減 (5.8%減)	2,569	452 減 (15.0%減)
うち責任準備金等繰入額	3,765	3,458 増 (1124.7%増)	2,060	1,682 増 (445.8%増)	1,902	1,082 増 (132.2%増)	0	45 減 (100.0%減)
うち資産運用費用	549	183 減 (25.0%減)	243	5 増 (2.3%増)	340	18 減 (5.2%減)	15	130 減 (89.3%減)
経常利益	1,359	52 減 (3.7%減)	453	85 減 (15.9%減)	744	46 増 (6.7%増)	150	11 減 (7.0%減)
特別利益	2	1 増 (249.0%増)	1	1 増 (—)	—	— (—)	—	— (—)
特別損失	48	178 減 (78.7%減)	29	57 減 (66.2%減)	17	118 減 (87.0%減)	1	2 減 (72.5%減)
契約者配当準備金繰入額	243	15 増 (6.8%増)	137	7 増 (5.6%増)	106	8 増 (8.3%増)	0	0 増 (—)
税引前四半期純利益	1,069	112 増 (11.8%増)	288	34 減 (10.6%減)	620	156 増 (33.8%増)	149	8 減 (5.5%減)
法人税等合計	311	33 減 (9.6%減)	78	36 減 (31.8%減)	182	3 増 (1.9%増)	45	1 増 (2.4%増)
四半期純利益	756	145 増 (23.8%増)	210	2 増 (1.0%増)	438	153 増 (53.8%増)	103	9 減 (8.5%減)

(参考)

資産運用関係収支 (一般勘定)	2,064	211 増 (11.4%増)	1,020	80 減 (7.3%減)	958	110 増 (13.0%増)	94	179 増 (—)
--------------------	-------	-------------------	-------	-----------------	-----	-------------------	----	--------------

- (注) 1. T & Dホールディングス連結の数値については、生命保険会社3社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
2. 保険料等収入の3社単純合算は1兆4,892億円（前年同期比23.3%増）です。
3. 特別損失（48億円）のうち、39億円は価格変動準備金への繰入です。（太陽生命：21億円、大同生命：16億円、TDF生命：1億円）
4. 資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関して、資産運用収益から資産運用費用を差し引いたものです。

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **経常収益**は、1兆8,356億円、前年同期から15.3%の増加。
これは主に、3社の保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、1兆4,909億円、前年同期から23.3%の増加。
- ・ **経常利益**は、1,359億円、前年同期から3.7%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、756億円、前年同期から23.8%の増加。
これは主に、価格変動準備金繰入額の減少に伴い特別損失が減少したことによる。

■ 太陽生命の状況

- ・ **経常収益**は、7,965億円、前年同期から22.5%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、6,606億円、前年同期から31.6%の増加。
これは主に、個人年金保険および終身生活介護年金保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、453億円、前年同期から15.9%の減少。
これは主に、ヘッジ目的の金融派生商品の費用が増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、210億円、前年同期から1.0%の増加。
これは主に、特別損失が減少したことによる。

■ 大同生命の状況

- ・ **経常収益**は、7,592億円、前年同期から13.4%の増加。
これは主に、保険料等収入が増加したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、6,081億円、前年同期から14.8%の増加。
これは主に、個人保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、744億円、前年同期から6.7%の増加。
これは主に、資産運用関係収支が増加したことによる。
- ・ **四半期純利益**は、438億円、前年同期から53.8%の増加。
これは主に、経常利益の増加に加え、特別損失が減少したことによる。

■ T & Dフィナンシャル生命の状況

- ・ **経常収益**は、2,860億円、前年同期から17.9%の減少。
これは主に、保険料等収入が増加した一方で、責任準備金戻入額、特別勘定資産運用益が減少したことによる。
- ・ **保険料等収入**は、2,204億円、前年同期から24.8%の増加。
これは主に、一時払終身保険の保険料の増加による。
- ・ **経常利益**は、150億円、前年同期から7.0%の減少。
- ・ **四半期純利益**は、103億円、前年同期から8.5%の減少。

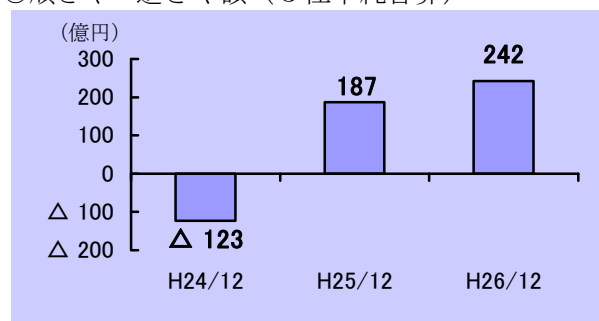
〔その他の指標等〕

<基礎利益と順ざや・逆ざや>

○基礎利益（3社単純合算）



○順ざや・逆ざや額（3社単純合算）



(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比	当第3四半期累計	前年同期比
基礎利益	1,352	209 減 (13.4%減)	524	24 減 (4.5%減)	801	83 増 (11.6%増)	25	268 減 (91.3%減)
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	242	55 増	103	10 増	162	47 増	△23	2 減

■ 3社単純合算

- ・ **基礎利益**は、1,352億円、前年同期から209億円の減少。
これは主に、T&Dフィナンシャル生命で減少したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の基礎利益**は、524億円、前年同期から24億円の減少。
これは主に、新契約高の増加に伴う初期費用の増加による。
順ざや額は、103億円、前年同期から10億円の増加。
- ・ **大同生命の基礎利益**は、801億円、前年同期から83億円の増加。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加による。
順ざや額は、162億円、前年同期から47億円の増加。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命の基礎利益**は、25億円、前年同期から268億円の減少。
これは主に、変額個人年金保険の保有契約高減少に伴い最低保証責任準備金戻入額が減少したことによる。
逆ざや額は、23億円、前年同期並み。

<ソルベンシー・マージン比率>

	T&Dホールディングス		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
ソルベンシー・マージン比率			989.8%	8.5pt 上昇	1,319.3%	162.9pt 上昇	1,221.0%	169.8pt 上昇
連結ソルベンシー・マージン比率	1,197.0%	82.0pt 上昇	997.0%	8.0pt 上昇	1,327.1%	163.2pt 上昇		

(注) T&Dフィナンシャル生命は、子会社等がないため、連結ソルベンシー・マージン比率を表示しておりません。

■ T&Dホールディングス連結

- ・ **連結ソルベンシー・マージン比率**は、1,197.0%。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、989.8%、前年度末から8.5ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上およびその他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,319.3%、前年度末から162.9ポイント上昇。
これは主に、四半期純利益の計上およびその他有価証券の評価差額の増加による。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、1,221.0%、前年度末から169.8ポイント上昇。
これは主に、変額個人年金保険の運用期間満了等に伴い最低保証リスクが減少したことによる。

<実質純資産>

(単位：億円)

	T & Dホールディングス（連結）		太陽生命（単体）		大同生命（単体）		T & Dフィナンシャル生命（単体）	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
実質純資産	26,148	6,047 増	11,620	3,058 増	12,501	2,575 増	1,653	404 増

■ T & Dホールディングス連結

- ・ **連結実質純資産**は2兆6,148億円、前年度末から6,047億円の増加。
これは主に、3社の四半期純利益の計上および有価証券の差損益が増加したことによる。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命の実質純資産**は、1兆1,620億円、前年度末から3,058億円の増加。
- ・ **大同生命の実質純資産**は、1兆2,501億円、前年度末から2,575億円の増加。
- ・ **T & Dフィナンシャル生命の実質純資産**は、1,653億円、前年度末から404億円の増加。

<有価証券差損益（一般勘定）>

(単位：億円)

	3社単純合算		太陽生命		大同生命		T & Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
有価証券差損益	13,410	5,351 増	7,769	2,998 増	4,970	1,938 増	670	414 増
公社債	6,542	2,644 増	3,399	1,318 増	2,630	1,059 増	512	266 増
株式	3,529	997 増	2,109	552 増	1,420	445 増	—	—
外国証券	2,766	1,447 増	2,096	1,085 増	669	362 増	—	—
その他の証券	238	94 増	85	31 増	152	63 増	—	—
金銭の信託	158	148 増	—	—	—	0 減	158	148 増
買入金銭債権	175	18 増	77	11 増	97	7 増	—	—
土地等の差損益	228	1 増	15	1 増	212	0 減	—	—

(注) 1. 有価証券差損益は、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。

2. 土地等の差損益は、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

<市場整合的エンベディッド・バリュー (MCEV) > [概算値]

(注) 四半期の数値は一部簡易な計算前提等を用いて計算した概算値であり、第三者の検証も受けておりません。

(単位：億円)

	T&D保険グループ全体 (Group MCEV)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比	当第3四半期末	前年度末比
MCEV	約 21,466	約 1,764 増	約 8,167	約 1,115 増	約 12,048	約 588 増	約 983	約 59 増

	T&D保険グループ全体 (3社合計)		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第3四半期累計		当第3四半期累計		当第3四半期累計		当第3四半期累計	
新契約価値	約 661		約 211		約 423		約 26	

(注) 前年同期の新契約価値は、T&D保険グループ全体(3社合計)が約720億円、太陽生命が約210億円、大同生命が約480億円、T&Dフィナンシャル生命が約30億円であります。

■ T&D保険グループ

- ・ **Group MCEV**は、約2兆1,466億円と、前年度末から約1,764億円の増加。
※Group MCEVは「生命保険事業のMCEV(約2兆1,198億円)」と「生命保険以外の事業に係る純資産(約268億円)」の合計額です。
新契約価値は、約661億円となった。

■ 各社の状況

- ・ **太陽生命のMCEV**は、約8,167億円、前年度末から約1,115億円の増加。
新契約価値は、約211億円となった。
- ・ **大同生命のMCEV**は、約1兆2,048億円、前年度末から約588億円の増加。
新契約価値は、約423億円となった。
- ・ **T&Dフィナンシャル生命のMCEV**は、約983億円、前年度末から約59億円の増加。
新契約価値は、約26億円となった。

〔平成 27 年 3 月期通期業績予想〕

○ T & D ホールディングス連結

平成 27 年 3 月期の通期業績予想は次のとおりです。(平成 26 年 5 月 15 日公表分から変更ありません。)
(単位：億円)

	平成 26 年 3 月期実績	平成 27 年 3 月期予想
経常収益	20,857	21,700 程度
経常利益	1,862	1,490 程度
当期純利益	789	770 程度

1 株当たり年間配当金予想は 25 円です。

なお、上記の前提となる生命保険会社 3 社（単体）の平成 27 年 3 月期の通期業績予想は次のとおりです。
(単位：億円)

	太陽生命	大同生命	T & D フィナンシャル生命
経常収益	9,000 程度	8,800 程度	3,700 程度
経常利益	600 程度	710 程度	170 程度
当期純利益	270 程度	390 程度	120 程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以 上

(参考) 生命保険会社3社の平成27年3月期通期見通し

平成26年5月15日公表分から変更ありません。

(単位：億円)

	3社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,590 程度	660 程度	890 程度	40 程度
保険料等収入	18,200 程度	7,300 程度	7,400 程度	3,500 程度
順ざや額 (負値の場合は逆ざや額)	140 程度	80 程度	90 程度	△30 程度
新契約高	65,200 程度	28,100 程度	33,300 程度	3,800 程度
保有契約高	601,100 程度	222,500 程度	360,100 程度	18,500 程度
解約失効率 (%)		5.8%程度	7.0%程度	4.6%程度

- (注) 1. 新契約高、保有契約高および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。
2. 大同生命に関して、「Jタイプ(無配当重大疾病保障保険)」の重大疾病保険金額および「Tタイプ(無配当就業障がい保障保険)」の就業障がい保険金額を加算した契約高の見通しは、次のとおりです。
- 新契約高 : 3兆9,100億円程度
保有契約高 : 37兆6,900億円程度

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以 上